

## 第9回年会研究発表大会開催にあたって

芦葉 浪久\*

本学会は情報と教育とのかかわりあいに関する研究の情報交換の場として設定された。情報の視点としては、情報科学・情報処理・情報システムを中心とし、教育の視点としては、学校教育だけでなく企業内教育も含む生涯学習をも対象としている。

今回の一般研究発表テーマを見ると、情報教育・情報処理教育・コンピュータ教育、これらの教育のためのソフトウェア開発（教材開発）に集中している。学会誌への投稿論文のテーマはもっと幅広いことから、今後、研究発表大会での発表テーマの幅をひろげる必要があると思われる。

本研究発表大会は、埼玉県教育委員会の後援をうけて、埼玉県の小・中・高等学校の教職員の方々の参加をよびかけてある。

小・中・高等学校の先生方の立場からは、発表テーマの中心が情報教育・情報処理教育・コンピュータ教育・教材開発であることは望ましいことであろう。つまり、発表が今後の「情報活用能力育成」のための授業内容・方法の参考として直接役立つと思われるからである。

多数の先生方の参加をお願いしたい。

今回は、課題研究として、「マルチメディア学習の実践・効果」と、「通信衛星の教育利用」の2つを設定してある。

「マルチメディア学習」は、今後のコンピュータ教育の主流になることが予想されている。いま、こんな形でマルチメディア学習ができるという事例が発表される。

「通信衛星利用」は、いますぐどこの学校でもできるものではないが、2000年には使われるようになるだろうといわれている。これも実際にどんな形の教育が行われているかが

発表される。「通信衛星の教育利用」については、シンポジウムも行い、メリット・デメリット・問題点などが討議される。

第2日の昼には、「宇宙理科実験」のビデオを上映する。これは昨年スペースシャトル「エンデバー号」内で行われた理科実験で、NHKの企画によって学校教育用として作られたものである。大変おもしろいので是非ご覧いただきたい。

1970年代から1980年代にかけての情報技術の進歩は、主としてハードウェアの能力向上に関連したもので、情報産業もハードウェアを中心として高度な成長を遂げてきた。

しかし、1990年代に入ると、一層のオープンシステムの進展に加えて、CPUの性能の急激な向上でダウンサイジングが進行した結果、情報産業も大きな構造変化に迫られている。また、ユーザーが求める情報システムの役割も、これまでのような合理化だけでなく、意思決定や創作という知的創造活動の支援へと変化している。そのため、ハードウェアとソフトウェアを適切に組み合わせたシステム、特に各社の製品の性能の優劣に従って、最適にインテグレーションされたものが求められている。このインテグレーションの成否はソフトウェア技術力にかかっている。このように、これからはハードウェアよりもソフトウェアに比重のかかった、ソフトウェア新時代だといわれている。

教育界においても、ユーザーとベンダー双方が、使用する教育場面の分析・システム企画・基本設計等の上流工程段階で、ユーザーの要求に合致するシステムの全容確定が重要だと言えよう。

\*ASHIBA Namihisa: 十文字学園女子短期大学教養学科長（第9回年会実行委員長）

# 1. プログラム

## 日本教育情報学会第9回年会プログラム (後援 埼玉県教育委員会)

日	会場	10:00	12:00	13:00	13:30	15:10	15:20	17:00
2 日 (月)	A会場 611教室	A1 コミュニケーション		理評 事議 会 員 会  ----- 昼食	総 会  G会場 632 教室	A2 メディア	休 憩	A3 学習・ 教育用ソフト開発
	B会場 612教室	B1 情報教育(1)				B2 情報教育(3)		
	C会場 613教室	C1 情報教育(2)				C2 情報教育(4)		
	D会場 621教室	D1 システム開発				D2 教材開発(1)		D3 教材開発(2)
	E会場 622教室	E1 教育情報				E2 情報処理教育(1)		E3 情報処理教育(2)
日	会場	10:00	12:30	13:00	13:40	15:30		
3 日 (火)	F会場 631教室	F1 課題研究(1) マルチメディア学習の 実践・効果		理 事 会				
	G会場 632教室	G1 課題研究(2) 通信衛星の 教育利用			宇宙理科 実験ビデオ	公開シンポジウム 「通信衛星の 教育利用」		

◇休憩室 623教室

- 研究発表時間は、1課題について発表15分、質疑5分です。
- 研究発表件数は、課題研究発表13件、一般研究発表65件です。
- 本号にも「参加申込書」を同封しましたので、7月26日までに申し込みください。
- 第2日(8月3日)の昼食休憩時(13:00~13:40)に、宇宙理科実験ビデオの上映をいたします。これは昨年打ちあげられたスペースシャトル「エンデバー号」の中で、日本の学校教育のためにNHKが中心になって企画したものです。興味のある理科実験が行われていますので、是非ご鑑賞ください。
- 本学付近は昼食をとれる店がありませんので、会場で弁当を販売いたします。ご希望の方は「参加申込書」に昼食希望とご記入ください。代金は当日お支払ください。
- 年会参加費を7月26日までに振り込むようにしてください。

年会事務局 〒352 埼玉県新座市菅沢2-1-28  
 十文字学園女子短期大学 教養学科内  
 日本教育情報学会第9回年会実行委員会  
 F A X 048-481-8649  
 電話(事前)048-477-0555(代表電話-教養学科 笠木へ)  
 (年会当日)048-478-9780(年会実行委員会直通)

## 2. 公開シンポジウム

第2日 8月3日(火) G会場(632教室) 13:40~15:30

### 「通信衛星の教育利用」

司会：深谷 哲(相山女学園大学教授)

パネリスト：小田 格(日本アイビーエム株式会社 研修事業部研修ビジネスプログラム担当)

後藤 忠彦(岐阜大学教授,財団法人学習ソフトウェア情報研究センター 理事)

藤本 弘之(代々木ゼミナール 通信衛星教育部課長)

野中 忠彦(株式会社SCC 取締役)

平本 真理(NEC C&Cシステム市場開発推進本部教育システム部)

趣旨：通信衛星の教育利用は、通信衛星の「同報性・広帯域性」を生かした新しい教育システムとして、注目されています。現在実際に利用している事例に基づいて、メリット、デメリット、実施上の問題点、今後の方向性について討議します。

進行の要領：司会が、各パネリストの「課題研究(2)」の研究発表(午前の部)の概要を15分程度でまとめます。そのあと、パネリストを指名して、実施上の問題点、メリット、デメリット、今後の利用の方向性などについて質問をし、指名されたパネリストがそれに答える形で進行します。必要に応じて、パネリスト間やフロア一との意見交換、質疑応答などもまじえていきます。

## 3. 宇宙理科実験ビデオ上映

第2日 8月3日(火) G会場(632教室) 13:00~13:40

### 「不思議いっぱい無重力のヒミツ」(30分)

宇宙開発事業団提供, NASA, NHK協力

1992年9月12日から8日間、スペースシャトル「エンデバー号」で毛利衛さんが宇宙旅行をしたとき、日本の学校教育のために特別に企画して行った理科実験のビデオを上映します。

この内容は、宇宙飛行中NHKテレビで中継放送したものと別に、全宇宙飛行士の協力をえて、特別に撮影し、編集したもので、内容の主なものは次の通りです。

- ・無重力泳法, 人間ピラミッド
- ・綱引き, 相撲, お手つき遊び
- ・スリンキーの実験
- ・コマの運動
- ・球の運動, 球の衝突
- ・双極棒の回転
- ・水のふるまい
- ・物質の混合

#### 4. 課題研究発表 (1課題について, 発表15分 質疑5分)

第2日 8月3日(火) 10:00~12:30

##### F会場 631教室(3F)

(1) マルチメディア学習の実践・効果

座長: 角田真二(十文字学園女子短期大学)

F1-0 (講演) マルチメディアと新情報革命 -感性情報

芦葉浪久(十文字学園女子短期大学)

F1-1 マルチメディアの教育における位置付け -教材作成を通じての考察-

木下昭一(聖徳大学短期大学部)

F1-2 知的マルチメディア学習支援システム

渋井二三男(城西大学女子短期大学部), 石井宏(城西大学情報科学センター)

F1-3 VTR教材をCAI技法でコンピュータ上に展開した動画CAIの学習効果についての  
実験的研究

白石紳一(上越教育大学)

F1-4 マルチメディアを使った実験レポート

山田信雄(各務原市立那加中学校)

F1-5 視聴覚情報を利用した楽譜の学習に関する一検討

-マルチメディア時代に向けての基礎的研究-

森田信一・角田真二(十文字学園女子短期大学)

F1-6 マルチメディア利用による英会話学習支援システムの構築

松村幸輝(産能大学)

##### G会場 632教室(3F)

(2) 通信衛星の教育利用

座長: 若山皖一郎(東京電機大学)

G1-0 (講演) 通信衛星の教育利用

柿本幸治(文部省生涯学習局学習情報課メディア調査官)

G1-1 衛星通信を用いた教員研修

稲葉一(中部女子短期大学), 若山皖一郎(東京電機大学), 後藤忠彦(岐阜大学),

上田四郎(財団法人学習ソフトウェア情報研究センター)

G1-2 2チャンネル化を果たした衛星教育システム“サテライン”

藤本弘之(代々木ゼミナール)

G1-3 日本アイビーエムにおける通信衛星の教育利用実践例

小田格(日本アイビーエム株式会社)

G1-4 衛星利用遠隔教育システム「NESPAC」及び「NESPAC-TV」

平本真理(NEC)

G1-5 PINE-NETによる情報技術者教育

野中忠彦(株式会社SCC)

## 5. 一般研究発表 (1課題について, 発表15分 質疑5分)

第1日 8月2日(月) 10:00~12:00

### A会場 611教室(1F)

#### 「コミュニケーション」

座長: 宮武直樹(法政大学), 森田信一(十文字学園女子短期大学)

- A1-1 多機能化したコンピュータを見直すための一提案  
角田真二(十文字学園女子短期大学)
- A1-2 国際ネットワークを使ったCSCWと教育プロジェクト  
成瀬喜則(富山商船高専)
- A1-3 ファジィ多目的計画法を用いた教師の評価能力向上のための支援システム  
宮武直樹・長谷川洋介(法政大学), 清水誠一(岡山県中川小学校), 安田隆人(岡山県美星小学校)
- A1-4 パソコン通信における情報発信行動に影響する要因の分析  
中尾茂子・安達一寿・井口磯夫・栗原隆史・丸山有紀子(十文字学園女子短期大学)
- A1-5 情報発信能力開発のためのカリキュラム展開  
武田亘明(北星学園女子短期大学)

### B会場 612教室(1F)

#### 「情報教育(1)」

座長: 若山皖一郎(東京電機大学), 堀田龍也(西東京科学大学)

- B1-1 情報教育におけるノート型パソコンの活用と課題  
井口磯夫・橋本克己・中尾茂子(十文字学園女子短期大学)
- B1-2 学習状況の分析を基礎とした情報活用教育カリキュラムの検討(1)  
若山皖一郎(東京電機大学), 後藤忠彦・村瀬康一郎(岐阜大学), 中村紘司(北海道教育大学), 園屋高志(鹿児島大学), 稲葉一(中部女子短期大学), 加藤直樹(岐阜大学)
- B1-3 情報活用能力の発達段階と教科の学習場面への位置づけ  
関野義行(世田谷区立富士中学校), 西田友幸(目黒区立第五中学校), 石出勉(目黒区立第六中学校), 安達渉(砺波市立出町中学校), 堀田龍也(西東京科学大学), 安達一寿(十文字学園女子短期大学)
- B1-4 教科学習における情報教育の授業設計  
堀田龍也(西東京科学大学), 安達一寿(十文字学園女子短期大学)
- B1-5 創造的自己表現のための情報教育  
伊藤明彦(ハドソンコンピュータデザイナーズスクール)
- B1-6 CAIを利用したコンピュータリテラシー教育の試み  
- 専門学校建築学科学生に対して -  
大塚一徳(東海大学福岡短期大学)

### C会場 613教室(1F)

#### 「情報教育(2)」

座長: 三木大史(賢明女子学院短期大学), 安達一寿(十文字学園女子短期大学)

- C1-1 学習者集団のコンピュータ親和度によるグルーピング方策  
安達一寿・井口磯夫・中尾茂子・栗原隆史・丸山有紀子(十文字学園女子短期大学)
- C1-2 女子短大生の抱くコンピュータ・イメージ  
片山章郎(順正短期大学)

- C1-3 短大生対象の統計量概念理解のためのツールソフト利用  
三浦徹志（大阪成蹊女子短期大学）
- C1-4 短期大学における情報処理演習室のパソコン利用システム  
－特に日本語入力システムの辞書ファイルの扱い方について－  
三木大史・長瀬修子（賢明女子学院短期大学）
- C1-5 ワープロ演習の入門段階でのタイピングスピードと日本語入力スピードとの関連性について  
長瀬修子・三木大史（賢明女子学院短期大学）
- C1-6 プログラム作成プロトコルによる思考過程の診断予測  
～小学校算数科における一考察～  
本郷健（川村学園女子大学）、山下成明（浦和市立大星小学校）

**D会場** 621教室（2F）

「システム開発」

- 座長：堀口秀嗣（国立教育研究所）、渋井二三男（城西大学女子短期大学部）
- D1-1 産業教育におけるプレゼンテーションソフトウェアの活用  
高瀬敏樹（北海道富川高等学校）
- D1-2 LAN環境におけるインターフェースに留意したCAIの開発  
星野隆（中央学院大学）
- D1-3 タイプ練習授業におけるLANを用いた学習支援システムの開発  
丸山有紀子・安達一寿・中尾茂子・栗原隆史・井口磯夫（十文字学園女子短期大学）
- D1-4 FCAIを利用したプレゼンテーションの作成および実行機能  
堀口秀嗣（国立教育研究所）、安達一寿（十文字学園女子短期大学）、堀田龍也（西東京科学大学）、鳥飼明史（文溪堂）
- D1-5 ソフトウェア技術学習シミュレーションシステム  
渋井二三男（城西大学女子短期大学部）、石井宏（城西大学情報科学研究センター）

**E会場** 622教室（2F）

「教育情報」

- 座長：林義樹（武蔵大学）、古田善伯（岐阜大学）
- E1-1 学校教育機関における文献情報利用支援のための検索方法の検討  
～バーコード・光磁気ディスクを用いた検索～  
加藤直樹・松川禮子・古田善伯・五島文韶（岐阜大学）
- E1-2 参画型教育支援情報システム（1）  
林義樹（武蔵大学）
- E1-3 保健体育学文献データベースの光磁気ディスクを用いた流通の一試案について  
古田善伯・原田憲一・鈴木壮・渡辺義行・加藤直樹（岐阜大学）
- E1-4 コンピュータ社会に対する意識差の分析  
栗原隆史・井口磯夫・安達一寿・橋本克己（十文字学園女子短期大学）
- E1-5 内容としての教育情報  
吉田裕午（広島文教女子大学）

第1日 8月2日(月) 13:30~15:10

**A会場** 611教室(1F)

「メディア」

座長：土橋永一(聖徳大学短期大学部)，中山雄二(各務原市視聴覚センター)

A2-1 小学校国語におけるマルチメディアの活用 ～「方言と共通語」の指導～

新田直・大平美恵子・岩田絳慧・伏屋昌江(輪之内町立大藪小学校)

A2-2 理科教育のための映像・音声等の教材情報の作成と管理

細川明博(岐阜大学附属中学校)，加藤直樹(岐阜大学)，高橋宏行(大垣市立興文小学校)，磯村正行(中津川市立坂本中学校)，田中正己(大垣市教育研究所)，久世均(岐阜県教育委員会)，佐藤正明(岐阜北高等学校)，後藤忠彦・五島文韶(岐阜大学)

A2-3 理科教育における問題解決のためのマルチメディア利用 ～学習者が資料を作る～

田中正己(大垣市教育研究所)，渡部一博(安八郡登龍中学校)，加藤直樹(岐阜大学)，細川明博(岐阜大学附属中学校)，井上志朗(岐阜教育事務所)，武井由典(美濃市立昭和中学校)，野田広幸(輪之内町教育委員会)，新田直(輪之内町立大藪小学校)

A2-4 社会科教育における映像等のマルチメディア教材作成用資料の流通

～光磁気ディスク，CD-ROMを用いた素材の利用～

中山雄二(各務原市視聴覚センター)，今村光登志(岐阜市立早田小学校)，熊崎康文(武儀郡武芸川中学校)，後藤勝美(岐阜市立早田小学校)，村瀬康一郎・加藤直樹・後藤忠彦(岐阜大学)

A2-5 個性的な情報を消し去るメディアと学習活動

土橋永一(聖徳大学短期大学部)

**B会場** 612教室(1F)

「情報教育(3)」

座長：林徳治(京都教育大学)，本郷健(川村学園女子大学)

B2-1 技術協力における情報教育の取り組み

－1. タイ国教員養成大学における教員研修を通して－  
林徳治(京都教育大学)

B2-2 教師に対する自学自習を主体とした情報教育の試み

沖裕貴(長岡京市立教育センター)，林徳治(京都教育大学)

B2-3 社会教育施設職員を対象としたコンピュータ研修のためカリキュラム

坂口隆康・村上美和(兵庫県立嬉野台生涯教育センター)

B2-4 高等学校における情報教育の現状と家政系短期大学における情報教育の今後

黒田洋子(名古屋女子文化短期大学)

B2-5 参考調査の手法を用いた情報収集能力の育成について

濱口なぎさ・副島雪子・中山元泰(長崎女子短期大学)

**C会場** 613教室(1F)

「情報教育(4)」

座長：泉廣治(兵庫県川西市教育委員会)，西田友幸(目黒区立第五中学校)

C2-1 情報教育を意識した中学校数学科「課題学習」の実践

西田友幸(目黒区立第五中学校)

C2-2 情報教育を意識した中学校技術科「自動化」の実践

村松浩幸(佐久市立野沢中学校)

- C2-3 中学校選択教科としての情報基礎  
 -マルチメディアパソコンを使って特異な分野で作品づくり-  
 山本雄幸(三木市立星陽中学校)
- C2-4 情報基礎学習の展開および今後の課題(1)  
 泉廣治(兵庫県川西市教育委員会),林徳治(京都教育大学),西之園晴夫(鳴門教育大学)
- C2-5 高等学校理科におけるコンピュータの使用  
 稲葉一(中部女子短期大学),安藤雅夫(東海女子短期大学),竹中洵治(岐阜高校)

**D会場** 621教室(2F)

「教材開発(1)」

- 座長:中嶽治麿(京都文教短期大学),村瀬康一郎(岐阜大学)
- D2-1 産業用ロボット技術教育における教授法とその効果  
 山路康貴(愛知技術短期大学),石井直宏(名古屋工業大学),紙屋新一郎(名古屋工学院専門学校),渡部進(愛知技術短期大学)
- D2-2 導入用CD-ROM教材の構成とカリキュラム評価  
 村瀬康一郎・後藤忠彦(岐阜大学),岩田初美(学習情報開発センター),稲葉一(中部女子短期大学),興戸律子(岐阜大学),加納豊子(中部女子短期大学)
- D2-3 小学校気象学習におけるコンピュータの活用  
 野田広幸(輪之内町教育委員会)
- D2-4 授業関連システムの開発に関する研究(その1) -教材構想の設定と分析-  
 中嶽治麿・太田豊穂(京都文教短期大学)
- D2-5 授業関連システムの開発に関する研究(その2) -教材構想の設定と開発-  
 太田豊穂・中嶽治麿(京都文教短期大学)

**E会場** 622教室(2F)

「情報処理教育(1)」

- 座長:木下昭一(聖徳大学短期大学部),丸橋敬(名古屋聖霊短期大学)
- E2-1 これからの情報処理教育はどうあるべきか  
 丸山正明(早稲田情報ビジネス専門学校・早稲田速記秘書専門学校)
- E2-2 情報処理教育に関する一研究  
 武藤玲路(長崎女子短期大学)
- E2-3 教養系短大生の情報処理に対する意識動向  
 丸橋敬(名古屋聖霊短期大学)
- E2-4 プログラミングにおける計算機支援の相談システムの試案  
 丹羽恵理子(産能大学)



第1日 8月2日(月) 15:20~17:00

**A会場** 611教室(1F)

「学習・教育用ソフト開発」

座長：佐伯卓也(岩手大学), 但馬文昭(横浜国立大学)

- A3-1 実験室における安全管理のためのCAIシステム  
筒本和広・瀬島紀夫(福山大学), 黒瀬能幸(近畿大学)
- A3-2 教材用BASICプログラムの複雑さの評価尺度に関する一考察  
但馬文昭(横浜国立大学)
- A3-3 参画型教育支援システム「ISOP」の開発と活用に関する研究  
竹原良美(アイテック開発部), 林義樹(武蔵大学)
- A3-4 参画型ラベル思考支援ツールに関する研究 -KJ法と「ISOP」をめぐって-  
山口ふみ(北陸先端科学技術大学院大学)
- A3-5 パソコン利用の積分教材開発とその授業実践 -中学校数学・面積関数-  
佐伯卓也(岩手大学)

**D会場** 621教室(2F)

「教材開発(2)」

座長：稲葉一(中部女子短期大学), 岩田恵司(岐阜大学)

- D3-1 数学教育におけるマルチメディア教材の適応  
~映像・図形情報等を用いた操作的活動の支援~  
岩田恵司(岐阜大学), 安藤忠展(羽島郡川島小学校), 村瀬康一郎(岐阜大学)
- D3-2 学習者による映像・音声等の資料作成支援の教育利用について  
~マルチメディア利用に関する調査~  
稲葉一(中部女子短期大学), 後藤忠彦(岐阜大学), 若山皖一郎(東京電機大学)
- D3-3 印刷メディアとパソコンマルチメディア教材の活用~バーコードを用いた教材検索~  
岩田初美(学習情報開発センター), 加藤直樹・村瀬康一郎・松川禮子(岐阜大学),  
若山皖一郎(東京電機大学), 後藤忠彦(岐阜大学)
- D3-4 映像・音声・文字情報の提示方法による学習効果の違いについて  
松川禮子(岐阜大学), 香田美歌(学習情報開発センター), 村松鈴香(関市立桜ヶ丘  
小学校), 若山皖一郎(東京電機大学)

**E会場** 622教室(2F)

「情報処理教育(2)」

座長：海老沢信一(文京女子大学), 小林仁(札幌ソフトウェア専門学校)

- E3-1 専門学校におけるSE養成の為の実践的プログラミング教育について  
小林仁・大花学(札幌ソフトウェア専門学校)
- E3-2 経営系学科におけるシステム開発教育の実践  
堀恵子(文教大学), 海老沢信一(文京女子大学)
- E3-3 システム開発能力向上のためのコンピュータ実習  
山本誠(札幌ソフトウェア専門学校)
- E3-4 汎用コンピュータを用いた実践的システム設計演習について  
山口有三(札幌ソフトウェア専門学校)
- E3-5 情報処理教育の系統性 -「一太郎」操作を中心に-  
上山英昭(十文字学園女子短期大学)

## 6. ご連絡

### ○発表時間の変更について

課題研究の発表時間が、発表件数多数のため変更になりましたのでご了承ください。

(変更前) 発表20分 質疑10分 → (変更後) 発表15分 質疑5分

### ○設備について

各会場の設備は下の表の通りです。申し込みの際お申し出のあった機材については準備致しました。なお、OHP以外の機器使用を追加希望される場合には、なるべくお早めに事務局までご連絡下さい。また、漏れ等のある場合もご一報下さい。

会場	OHP	スライド	VTR	PC-9801	FM-TOWNS	Macintosh
A(611教室)	○					
B(612教室)	○	○		○		
C(613教室)	○			○	○	○
D(621教室)	○		○	○		
E(622教室)	○					
F(631教室)	○		○	○	○	○
G(632教室)	○		○			

### ○座長の方へ

発表の円滑な進行のためご協力をよろしくお願い致します。一般研究発表は各会場、座長2名となっています。事務局において昼食をご用意しますので、7号棟6階会議室へおいで下さい。

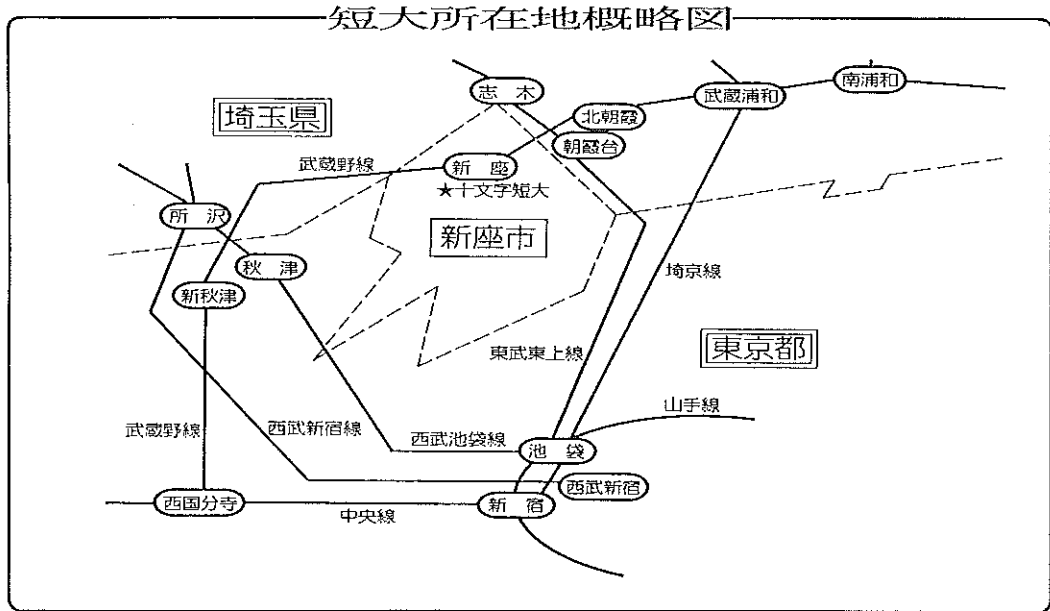
### ○昼食の場所

7号棟1階の食堂で昼食をおとりください。当日、食堂は開いておりませんので、弁当を販売いたします。

### ○その他

・本学は駐車スペースが少ないため、自動車での来校はご遠慮ください。

# 7. ご案内



## ○会場までの交通手段

- ・東京 ——— 南浦和 ——— 新座  
京浜東北線 武蔵野線 約60分 530円
- ・池袋 ——— 朝霞台 ——— 北朝霞 ——— 新座  
東武東上線 徒歩 武蔵野線 約45分 390円
- ・池袋 ——— 武蔵浦和 ——— 新座  
埼京線 武蔵野線 約50分 440円
- ・新宿 ——— 武蔵浦和 ——— 新座  
埼京線 武蔵野線 約55分 530円
- ・羽田空港 ——— 浜松町 ——— 東京 ——— 南浦和 ——— 新座  
東京モノレール 山手線 京浜東北線 武蔵野線 約90分 910円

## ○JR武蔵野線新座駅発時刻表

JR武蔵野線 新座駅 時刻表 (平日)	
南浦和・南朝霞・新木場方面 (下り)	時 (上り) 国分寺・所中本町方面
51 41 33 25 17 09 02	8 01 06 11 17 23 28 35 42 51
53 41 27 15 03	9 00 09 19 25 30 39 44 52 58
51 41 29 17 06	10 06 12 19 25 31 43 55
53 41 29 17 05	11 07 19 31 43 55
53 41 29 17 05	12 07 19 32 44 55
53 41 29 17 05	13 07 19 32 43 55
53 41 29 17 05	14 07 19 31 43 55
53 41 29 17 05	15 07 19 31 43 55
55 50 41 29 24 17 05	16 07 19 31 43 55
59 52 44 37 29 21 17 05	17 07 19 30 43 52
56 48 39 32 24 15 07	18 01 08 17 24 32 40 49 56
55 45 38 29 21 13 05	19 04 12 20 28 36 42 51 56
55 41 29 17 05	20 06 15 23 33 43 55

## ○その他の交通

- ・西武バス 東武東上線志木駅から 約20分 180円
- 西武池袋線清瀬駅から 約20分 200円
- 「利エツル電気前」下車 徒歩5分
- ・タクシー 東武東上線志木駅から 約15分
- 西武池袋線清瀬駅から " 約1,500円
- 新座交通 ☎ 048-477-4026
- 三和富士交通 ☎ 0492-66-0808

